資料20-3-3-3

TRB Annual Meeting 2016
参加報告（速報）

TRB: Transportation Research Board

2016年1月21日

国際連携WG 主査　天野　肇

TRB Annual Meeting 2016 の概要

- Transportation Research Board は、米国連邦政府への科学技術に関する諮問機関 National Research Council の6つの部門のひとつ。運輸分野の領域横断の発展のための研究開発の要として、連邦運輸省および各州運輸局の支援のもとで活動。
- 自動車交通、鉄道、海上輸送、航空輸送、旅客および貨物、建設および保守、運用など輸送に関するあらゆる分野を包含。
- 毎年、1月上旬に年次総会をワシントンDCで開催。この分野の世界最大の会議。
- 今年は、1月1日-14日に開催。米国内に加え世界各国から約13,000人が参加、約1,200のセッションで議論を行った。
- SIP-adusの中核技術に関して、欧米の関係者と課題別会議も実施。

自動走行に関連した主なテーマ

自動走行の環境整備

- Digital Infrastructure
- 車両・システムの基準づくりと認証方法
- 公道走行を許容する制度設計
- 導入の社会的効果の評価
- 責任、倫理、など社会受容性醸成の課題

自動走行技術の応用

- 高速道路および都市内での事故削減
- トラックの隊列走行による安全性と効率の向上
- 自動走行車と公共交通の組み合わせ利用促進
- 協調型および自動走行による Smart City 構築
- 自動走行とシェアリングによる都市交通の革新

米国の実証実験

Connected Vehicle Pilot Deployment（協調型運転支援システム ）

- New York
  （ タクシー、清掃車、バス、商用車など10,000台に搭載。
  衝突防止、円滑化、歩行者保護、物流車両管理、信号制御高度化などを検証。）
- Tampa, Florida
  （ 交差点衝突防止、逆走防止、歩行者事故防止、公共交通優先通行などを検証。）
- I-80, Wyoming
  （ 約400マイルの幹線輸送路における悪天候下での安全走行支援を検証。）

Smart City（交通を主眼にした都市の革新）

- 一次審査：モデル都市を公募中。2月4日締め切り。
  （ 5都市に絞り、$100,000の支援を受けて詳細提案を作成。）
- 二次審査： 実施1都市を選定。
  （ 連邦政府予算 $40 million + 民間支援 $10 Million + MobileEye機器 $6 million）

欧州の実証実験

欧州委員会: 7th Framework Programme

- AdaptIVe およびCityMobil2を継続実施中。

欧州委員会: Horizon 2020

Smart, green and integrated transport / Automated Road Transport

- 乗用車、トラック、公共交通の公道実証実験を公募。
- 2016年分: 審査中。2016秋に受託者との契約予定。
- 2017年分: 公募中。1st stage 1月20日締切

スウェーデン: Drive Sweden

- **Drive Me**: 2017年に100台の自動走行車を一般市民に貸与し評価。

オランダ: Dutch Automated Vehicle Initiative (DAVI)

- **iGame**: 通信利用自動運転の合流、信号なし交差点、緊急車両警報をテーマに5月28-29日にHelmondでコンペテイションを実施。
- **European Platooning Challenge:** スウェーデン、ドイツ、ベルギー、スペインを出発した隊列走行トラックが4月6日にロッテルダムに到着。
- 欧州連合の2016年前半の議長国として、協調型自動運転をテーマとした運輸閣僚会議を4月14日開催し、**Amsterdam Declaration** に調印予定。

課題別の専門家会議

TRB Annual Meetingに併催し、日米欧の課題別専門家会議を実施。
SIP-adusからは下記の課題別窓口が参加。詳細は、各WGで報告予定。

Dynamic Map
白土良太　日産自動車モビリティ・サービス研究所　主任研究員

Connected Vehicles
小川伯文　マツダ株式会社 R&D技術管理本部開発調査部　主幹

Human Factors
北崎智之　国立研究開発法人 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター研究センター長

Impact Assessment
内田信行　一般財団法人日本自動車研究所
安全研究部安全基盤グループ グループ長

Next generation Transport
川本雅之　筑波大学　教授

Security
谷口覚　トヨタIT開発センター　代表取締役社長